

## 平成30年度第2回大竹市地域公共交通活性化協議会

### 記 録 票

日 時：平成30年12月27日（木）10時～  
場 所：大竹市役所 3階 大会議室  
出席者等：別紙「名簿」のとおり

#### 1 開 会

会長あいさつ

#### 2 議 事

(1) 大竹市地域公共交通網形成計画<素案>について

○【事務局】 大竹市地域公共交通網形成計画<素案>により説明。

○質疑等

【委員】

P33の栗谷地域の移動環境の満足度と、P39の路線バス大竹・栗谷線の満足度の傾向が一致しないのは何か要因があるのか。

(事務局)

P33は市民アンケートであり、車移動の方の回答も含まれているが、山間部ということもあり、移動にあまり満足されていないものと捉えている。P39はバス利用者の方に聞き取り調査を行ったものであり、バスに対して不満がないという結果である。

【委員】

P40の地域公共交通に係る意見は利用者と市民のどちらなのか確認したい。

また、P50の評価指標1は、ポジティブな満足割合にしてはどうか。

(事務局)

P40については市民アンケートの意見である。

P50については、困っている方を減らしたいという思いから、不満の割合を減らすことを指標としている。また、不満をお持ちの方はその不満な部分について意見を挙げるが多く、これを改善すれば不満の減少に繋がれると考えている。

【委員】

ひまわりタクシーは、最近利用率が下がっている。玖波に買物先がなくなり、ゆめタウンまで行かなければならないが、高齢者にとっては荷物を持つての乗り継ぎは厳しい。足腰が弱い方、病気の方も多くおられ、何とかならないかと相談も受ける。

【委員】

市としては、地域からの要望は理解しているが、支線交通は、通常のタクシー事業

との最低限のバランスを保つため、週3日運行にして、なんとか事業者に譲歩していただいている。同じく行き先も、どこにでも行けるものというのは難しい。こうした事情も考慮いただけると助かる。

**【委員】**

バスロケーションシステムの導入時期の目途はあるか。

(事務局)

来年度に導入の可能性を検討し、その後、計画期間内に必要な条件などが整った段階で導入することになる。現時点で時期などは決まっていない。

**【会長】**

玖波駅のバリアフリー化は、現時点で何か動きはあるのか。

(事務局)

現時点で動きはないが、これからJRに要望をさせていただく。

**【委員】**

目標3に利用促進を掲げているが、計画事業には今ある取り組み内容が書かれているように思える。新たな取り組みは検討されていないか。

(事務局)

現時点で新しい取り組みはない。今後、地元の要望を確認し、事業者の協力をいただきながら、協議して進めていきたいと考えている。

**【委員】**

目標3は市民意識の高いまちということで、市では、これまでも意識醸成を重視し、市広報を活用した情報発信を積極的に実施してきている。その結果、こいこいバスの利用者増などの効果が出ていると認識している。また、バスエコファミリーキャンペーンは現在100人程度の利用であるが、さらに力を入れて継続したいと考えて指標として採用している。新たな取り組みも必要だが、まずは既存の活動を継続する内容としている。

**【委員】**

P55の大竹地区について新たな交通システムの導入と記載してあるが、既に具体的に考えていることはあるのか。

(事務局)

アンケート結果より地域の需要が高かったため、現状のままではいけないと考えて事業に掲載した。具体的な内容の検討はこれからである。

**【委員】**

大竹地区には坂上線がある。坂上線、大竹・栗谷線を含め、収支率などを考慮しな

がら総合的に検討しないといけないと思う。その中で、大竹地区の坂上線を増便するなどの考えもあるのではないかな。

これからは、栄町地区でバスからタクシーに変更したように、移動手段はバスありきでは難しい。支出が少なく、必要な人が利用できるものでないといけない。

**【委員】**

大竹駅の整備は栄町地区の住民にとって非常に重要である。確認であるが、整備は自由通路だけになるのか。東側からもJRの改札が利用できないと、利便性が大きく異なる。

**【委員】**

市では、自由通路だけでなく橋上駅を含めて整備することを考えている。来年度から設計に入り、工事は5年くらいかかる見込みである。

**【委員】**

エレベーターは整備されるのか。

**【委員】**

その予定である。また、玖波駅のバリアフリー化に関しては、市も必要性を認識している。現在の跨線橋が老朽化してエレベーターの設置が難しいこともあり、先に西口を整備した経緯がある。ただし、将来を視野に入れて取り組んでいきたい。

大竹地区は、早くからこいこいバスの延伸要望が多くある。しかし、現在でも運転手の負担が大きく、延伸するとさらに負担が増えることもあり難しい。この地域は色々な角度から検討が必要だと考えている。

**【委員】**

P55の大竹地区の新たな交通システムの導入について、今の記載内容だと、地域の方に過度に期待させることになる。見直しを検討した方がよい。

⇒ 上記の審議を踏まえて内容の修正を行う。

**(2) 地域公共交通確保維持改善事業（計画策定事業）事業評価について**

○【事務局】 別添1及び別添4により説明。

質疑なし ⇒ 

承認
----

**3 報告事項**

こいこいバス「恵川橋」バス停（大竹駅方面）の廃止について

（事務局より）

こいこいバスの大竹駅方面の「恵川橋」バス停について、バス停設置場所の建替

えのため、今後のバス停の設置は遠慮してもらいたいとの申し出があった。付近に適切な移設場所もなく、また、幹線交通検討分科会にて協議した結果、10月からはバス停を撤去（廃止）している。なお、こいこいバスの時刻表（平成30年10月1日改正版）は大竹駅方面の「恵川橋」を削除した内容で新たに作成している。

## ○質疑等

### 【委員】

バス停を廃止したことにより、何か問題は生じなかったか。

（事務局）

廃止後に、設置に対する問合せが1件あった。その他はない。

### 【委員】

「恵川橋」バス停は、平成21年の運行開始当初、たまたま使っていない建物があつたため、地元の自治会長さんの協力もいただいて地権者から敷地内への設置の承諾を得た。しかし、建替えて使うこととなったため、設置ができなくなった。今後、設置可能な場所が出てくれば改めて設置する可能性はある。

## 4 その他

（事務局より）

大竹市公共交通網形成計画の策定スケジュール（予定）を説明した。

平成31年1月：修正内容で書面審議

2月：パブリックコメントの実施

2月以降：（パブコメ終了後）活性化協議会の開催

⇒ 計画の策定完了

## 5 閉 会